

## 令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

### 【学校 目標】

○ICT機器や授業形態としてのアクティブラーニングの効果的な活用、学習評価における形成的評価を積極的に行い、学習における子どもたちの幸福感を高め、子どもたち自身が主体的・対話的で深い学びに向かおうとする授業を探索し、計画的・組織的な学力向上を推進する。

### 【現状と課題】

○視点1 生徒は粘り強く取り組もうとする力が弱く、学びへの充実感が感じられにくい。生徒自身の学びが自主的になるような教材研究やその工夫、また習得した内容が生活に根ざした知識として活用できるような授業実践を行う必要がある。  
 ○視点2 各教科の学習で、書くこと・話すことなどの表現する力を高めるための「話し合う活動」をさらに充実させる必要があるが、子どもたちの人間関係づくりに弱さが見られるため、学校全体での人間関係づくり改善への取り組みが必要である。  
 ○視点3 若手教員が増える中、教職員が一体となって取り組むために、OJTの取組や研究授業を通じた人材育成の必要があるとともに、子どもたちや保護者への重要な評価方法等の提示に、より一層の工夫が必要である。

### 取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標		
①「めあて」「課題」の提示、充実と「振り返り」の支援、充実と進化を図る。 ②付けたい力・行動目標の明確化、ICT機器の活用等や個に応じた取り組みが可能となる授業実践を行い、個別最適な学びの探求を進める。	・「授業の中で目標が示されていたと思いますか」「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」【(児童生徒向け)学びのアンケート(県)】		
	・「授業ではタブレットを使いながら必要な情報を探したり発表することに取り組んでいたと思いますか」【(児童生徒向け)学びのアンケート(県)】		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標		
①少人数による「話し合う活動」の充実させ、聞く姿勢や発表、伝え合う工夫、話の構成を考える力の育成を図る。 ②ピアサポート・アサーション等の人間関係づくりプログラム実施し、自尊感情や自己解決能力を高める支援の工夫改善を図る。	・「授業では、学級やグループ活動の中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」【(児童生徒向け)学びのアンケート(県)】		
	・月1回以上人間関係づくりプログラムを実施し、自尊感情や自己解決能力を高める。【いじめアンケート】		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標		
①OJTによる研修や校内研究による研究授業・協議会の実施により、教員の授業力の向上などの組織的な人材育成を図る。 ②保護者や生徒に向けて、評価方法をわかりやすく提示し、さらに授業と評価の一体化を進める。	・OJTによる定期的な研修と年間3回の研究授業および協議会の実施		
	・「学習評価が適切に行われていたと思う」【(保護者向け)学校評価アンケート】		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・各教科の授業で、個人ごとにテーマを設定し授業を参観する。その後グループ協議を行うことを日頃から行い、教員の授業力の向上を目指す。  
 ・学校内だけでなく積極的に外部講師を活用し、県教委や市教委の指導主事から取組の評価や指導助言をいただき、方向付け等をいただくことで、改善策にまとめ、その後の取組に生かす。

### 今年度の取組の成果と課題

--